

INFORMATION

No. 29009

平成29年7月28日

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2017年8月1日(火) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
特殊伝票	ヒト精巢上体 タンパク4 (HE4) 5D110-0000-023-051	血清 0.5	①	冷蔵 (21日)	3~5	200 ※4 腫2	CLIA	閉経前女性 70.0以下 閉経後女性 140以下 (pmol/L)	

※4：生化学的検査(Ⅱ)判断料



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

● ヒト精巢上体タンパク4 (HE4)

卵巣悪性腫瘍の診断補助に有用な、特異度の高い新規腫瘍マーカーです。

ヒト精巢上体タンパク4 (HE4) は、分子量約25kDaの分泌型糖タンパク質であり、精巢上体遠位の上皮細胞で発見されたことからこの名が付けられました。男女の生殖組織や呼吸器上皮を含む正常細胞での発現が報告されているほか、卵巣悪性腫瘍患者の血清中に高濃度で検出されること、婦人科良性疾患（子宮内膜症等）では値の上昇が少ないことが知られています。

卵巣悪性腫瘍は、卵巣が腹腔内臓器であることから症状を自覚しにくく、発見時には予後不良であることも多いため、女性生殖器悪性腫瘍の中で最も死亡数の多い疾患です。一方で、卵巣にできる腫瘍の約85%は良性であることから、術前に悪性か否かのリスクを判定することが求められています。

本項目は、卵巣腫瘍を認めた患者を対象に、卵巣悪性腫瘍の診断補助等を目的に行う検査です。卵巣悪性腫瘍におけるHE4値は良性腫瘍と比較して有意に高値を示すことから、両者の鑑別に有用と考えられています。本検査試薬の感度は52.8%、特異度は100%であり、CA125に比べ感度は劣るものの高い特異度を示します。HE4とCA125は相関性が低いため、両検査を組み合わせることで上皮性卵巣悪性腫瘍の診断精度が向上する可能性があります。

卵巣悪性腫瘍の診断補助に、特異度の高い腫瘍マーカーとしてご活用ください。

▼ 疾患との関連

卵巣悪性腫瘍

▼ 関連する主な検査項目

CA125

▼ 検査要項

検査項目名	ヒト精巢上体タンパク4 (HE4)
項目コード	特殊伝票
検体量	血清 0.5 mL
容器	① 真空採血管
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~5 日
検査方法	CLIA
基準値	閉経前女性 70.0以下 閉経後女性 140以下 (pmol/L)
検査実施料	200点 (「D009」腫瘍マーカー「22」)
判断料	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)
備考	

● 参考文献

木村 英三：産婦人科の実際 64 (8) : 1055~1061, 2015. (臨床的意義参考文献)